



◆ 「鈴木」は米のなる木

そこで、わたしは、スズキを調べるために、国内はもちろん、東南アジアもほとんど回ったが、その糸口だけはつかんだような気がする。いま、きわめて簡単に結論だけを申しあげる。

- ① 鈴木とは「当て字」で、寿寿木・寿松木・柏木・須々岐・薄・進杵・進来など、三十二通りの書き方があるが、要するに稻積(いなづみ)（穂積(ほづみ)）に立てた棒のことをいう。
- ② 地方によっては、この棒をススレ・ススシ・ススミ・ススヌなどともいう（清音・濁音ともある）が、目的は稻魂(いなだま)を招くために立てるのである。棒を伝わって稻魂が稻の中に入る、来年の豊作が約束される。

鈴木さん

謎の苗字、そのルーツを探る

鈴木一族について、わたしは長い間、姓氏という立場から調べてきた。

ところが、調べれば調べるほど、難点続出で、まことに不思議な苗字である。いわば、日本の姓氏史上、きわめ付きの謎の姓といえる。まず、

第一に、その人口が二百万以上もある。五十人に一人の割だが、こんなに増えた理由が分からぬ。

第二に、スズキという意味が分からぬ。

第三に、東日本、とくに関東方面に多い理由が分からぬ。

このほかにも、いろいろ不明な点がある（たとえば、祖先の歴史がはつきりしないとか）が、煎じつめると、得体の知れない一族だということになる。